

基本施策	
①食育の効果的な普及啓発	②ライフステージに応じた食育の推進
③保育・教育活動を通じた食育の推進	④環境にやさしい食育の推進
⑤保護者・地域との連携による食育の推進	⑥事業者との連携による食育の推進
⑦食育に関わる人材育成・ボランティアへの支援	⑧京都の食文化の普及啓発
⑨地元産物への理解の推進と地産地消の推進	⑩食の安全性の確保
⑪安心できる食生活の実現	

構成団体名等	年度	具体的な取組	基本施策 No.	プラン冊子記載頁	
地球温暖化対策局	30年度実績	○京エコロジーセンターにおけるエコな料理作り等の体験学習の推進(平成30年度22回実施予定)	④	38	
		○「こどもエコライフチャレンジ推進事業」の実施(対象児童が在籍する全市立小学校164校)	④	38	
	31年度予定	○京エコロジーセンターにおけるエコな料理作り等の体験学習の推進【継続】	④	38	
		○「こどもエコライフチャレンジ推進事業」の実施【継続】	④	38	
産業観光局中央卸売市場第一市場	30年度実績	○京の食文化ミュージアム・あじわい館を活用した京の食文化の普及啓発・食育事業 ①料理教室の実施 年間100回程度 ②実演講演会の実施 年間10回程度(うち2回は、健康長寿をテーマに実施) ③食に関するイベントの開催 (毎月第二土曜日(7月～9月除く) 食彩市連携事業/11月18日 京の食育ワンダーランド/2月24日 魚フェス2019) ④その他、京の食文化に関する展示	②⑧⑨	8.24.25.4 7.49	
		○小学校出前板さん教室 小学校やあじわい館に向き、市場の新鮮な食材を利用して、板前等の料理人による指導で調理方法を教えながら「食」や食を取り巻く環境について学ぶ機会を提供する。 ・魚料理教室 5回(9月18日・19日 竹の里小学校/10月2日・3日 砂川小学校/10月10日 高雄小学校) ・野菜料理教室 5回(11月8日 乾隆小学校/11月29日・30日 朱雀第三小学校/12月4日 光徳小学校/1月25日 養正小学校)	③	34	
		○小学校出前板さん教室拡大版「まちの八百屋さん・魚屋さん教室」 小学校に向き、市場の新鮮な食材を展示し、まちの八百屋さんや魚屋さんが食材についての話をすることにより、食材について学ぶ機会を提供する。 ・まちの魚屋さん教室 1回(10月19日 日野小学校) ・まちの八百屋さん教室 1回(2月6日 七条第三小学校)	③	34	
	31年度予定	○京の食文化ミュージアム・あじわい館を活用した京の食文化の普及啓発・食育事業【継続】 ①料理教室の実施 年間100回程度 ②実演講演会の実施 年間10回程度 ③食に関するイベントの開催 ④その他、京の食文化に関する展示	②⑧⑨	8.24.25.4 7.49	
		○小学校出前板さん教室【継続】 小学校やあじわい館に向き、市場の新鮮な食材を利用して、板前等の料理人による指導で調理方法を教えながら「食」や食を取り巻く環境について学ぶ機会を提供する。	③	34	
		○小学校出前板さん教室拡大版「まちの八百屋さん・魚屋さん教室」【継続】 小学校に向き、市場の新鮮な食材を展示し、まちの八百屋さんや魚屋さんが食材についての話をすることにより、食材について学ぶ機会を提供する。	③	34	
	産業観光局第二市場中央卸売市場	30年度実績	○市民等を対象とした京都食肉市場の施設見学の随時受入れ(参加者93人、20回実施) ・「見て、学んで、食べてみよう！」食肉市場見学会 試食や模擬せり体験を行う施設見学会の実施(参加者20人、10月20日実施)	①	24
			○「お肉の教室」の開催 小学生対象の食肉講座の実施(参加者32名、8月14日実施/31年3月26日実施予定)	③	34
		31年度予定	○市民等を対象とした京都食肉市場の施設見学の随時受入れ【継続】 ・「見て、学んで、食べてみよう！」食肉市場見学会【継続】 試食や模擬せり体験を行う施設見学会の実施	①	24
			○「お肉の教室」の開催【継続】 小学生対象の食肉講座の実施(年2回実施)	③	34
産業観光局観光MICE推進室	30年度実績	○市役所内食関連部署との連携による京都の食文化の普及促進【継続】	⑧	47	
		○HP「食のイベントナビ」での食文化・イベントの紹介			
		○京都・和食文化推進会議における表彰制度「和食文化京都大賞」「京都和食文化賞」の実施			
		○京都レストランウインターズスペシャルを、京都レストランウインターズスペシャル実行委員会と共催			
		○「地域の食発信サイト」(仮称)の開設(予定)			
		○民間団体が実施する食関連事業への支援			
	○「きょうと修学旅行ナビ」における、食物アレルギーなど、食に関する情報の発信				
31年度予定	同上【継続】	⑧	47		

- 基本施策**
- ①食育の効果的な普及啓発
  - ②ライフステージに応じた食育の推進
  - ③保育・教育活動を通じた食育の推進
  - ④環境にやさしい食育の推進
  - ⑤保護者・地域との連携による食育の推進
  - ⑥事業者との連携による食育の推進
  - ⑦食育に関わる人材育成・ボランティアへの支援
  - ⑧京都の食文化の普及啓発
  - ⑨地元産物への理解の推進と地産地消の推進
  - ⑩食の安全性の確保
  - ⑪安心できる食生活の実現

構成団体名等	年度	具体的な取組	基本施策 No.	プラン冊子記載頁
産業観光局 農林振興室 農業振興整備課	30年度 実績	○未来の農業サポーター育成事業の実施	③⑦⑨	34.37.45.49
		○フードマイレージ低減につながる京の旬野菜推奨事業の推進	④⑨	8.37.48
		○産学公連携による新京野菜の品種開発とレシピの紹介	⑨	49
		○総合体験型市民農園やふれあい体験農園など市民が農作業を楽しめる機会の創出	⑨	49
		○京の農林食文化フェア～京野菜deおぼんざい～の開催	⑧⑨	47
		○市営保育所との連携による農業指導	③⑦⑨	34.37.45.49
	31年度 予定	○川魚食文化の再興(京の川の恵みを活かす会)	⑧⑨	47
		○未来の農業サポーター育成事業の実施【継続】	③⑦⑨	34.37.45.49
		○川魚食文化の再興(京の川の恵みを活かす会)【継続】	⑧⑨	47
		○市営保育所との連携による農業指導【継続】	③⑦⑨	34.37.45.49
		○総合体験型市民農園やふれあい体験農園など市民が農作業を楽しめる機会の創出【継続】	⑨	49
		○産学公連携による新京野菜の品種開発とレシピの紹介【継続】	⑨	49
子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 育成推進課	30年度 実績	○児童館等における多世代での共食の取組の推進【継続】 高齢者福祉施設と合築整備された児童館等において、子どもと高齢者が共に食べることを通じて、交流を深める取組等を行っている。	②	7.24.27
		○地域子育て支援ステーション等での情報提供・相談事業【継続】 京都市内のすべての児童館、保育園(所)及び認定こども園を「地域子育て支援ステーション」に指定し、子どもの食生活を含む、子育て相談を実施するとともに、子育て講座や園庭開放、子育てに関する情報提供等を行っている。 また、子育て中の親子が気軽に「つどい」の広場を市内34箇所に開設し、子育て相談や子育てに関する情報提供を行っている。	②	28
		○こんには赤ちゃん事業(新生児等訪問指導事業)等での保健指導の推進【継続】 生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、母乳育児や離乳食等の子育て支援に関する情報提供等を行っている。 また、母子の心身の養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービスにつなげている。	②	28
		○親子の健康づくり講座の実施【継続】 乳幼児期からの健康づくり等を目的として、区役所・支所保健福祉センター子どもはぐくみ室又は地域で、乳幼児期の食育を目的とした講習会等を実施している。	②	28
		○京都市青少年活動センターにおける食育【継続】 ①カフェ「Mountain Blue」(山科区、毎週火曜日、通年実施、利用者610名【12月時点】):主に中学生・高校生を対象とし、手作りの軽食を提供し、余暇の時間を安心して過ごせる食の場を提供した。 ②やませい食堂(山科区、7月より全9回実施【12月時点】、利用者132名【12月時点】):山科青少年活動センターを利用する中学生、高校生、大学生を主な対象とした子ども食堂。テスト前等、利用の増える時期に合わせて実施し、食を通じた交流を進めた。 ③ロビー喫茶(南区、毎週火曜日・木曜日夕方、通年実施、利用者653名【12月時点】):青少年が気軽に集い、食を通して語り合い交流できるロビー喫茶を運営した。		
		31年度 予定	○児童館等における多世代での共食の取組の推進【継続】 高齢者福祉施設と合築整備された児童館等において、子どもと高齢者が共に食べることを通じて、交流を深める取組等を行っている。	②
	○地域子育て支援ステーション等での情報提供・相談事業【継続】 京都市内のすべての児童館、保育園(所)及び認定こども園を「地域子育て支援ステーション」に指定し、子どもの食生活を含む、子育て相談を実施するとともに、子育て講座や園庭開放、子育てに関する情報提供等を行っている。 また、子育て中の親子が気軽に「つどい」の広場を市内34箇所に開設し、子育て相談や子育てに関する情報提供を行っている。		②	28
	○こんには赤ちゃん事業(新生児等訪問指導事業)等での保健指導の推進【継続】 生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、母乳育児や離乳食等の子育て支援に関する情報提供等を行っている。 また、母子の心身の養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービスにつなげている。		②	28
	○親子の健康づくり講座の実施【継続】 乳幼児期からの健康づくり等を目的として、区役所・支所保健福祉センター子どもはぐくみ室又は地域で、乳幼児期の食育を目的とした講習会等を実施している。		②	28
	○京都市青少年活動センターにおける食育【継続】 ①カフェ「Mountain Blue」(山科区、毎週、通年):主に中学生・高校生を対象とし、手作りの軽食を提供し、余暇の時間を安心して過ごせる食の場を提供する。 ②やませい食堂(山科区、時期未定):山科青少年活動センターを利用する中学生、高校生、大学生を主な対象とした子ども食堂。テスト前等、利用の増える時期に合わせて実施し、食を通じた交流を進める。 ③ロビー喫茶(南区、毎週、通年):青少年が気軽に集い、食を通して語り合い交流できるロビー喫茶を運営する。			

- 基本施策**
- ①食育の効果的な普及啓発
  - ②ライフステージに応じた食育の推進
  - ③保育・教育活動を通じた食育の推進
  - ④環境にやさしい食育の推進
  - ⑤保護者・地域との連携による食育の推進
  - ⑥事業者との連携による食育の推進
  - ⑦食育に関わる人材育成・ボランティアへの支援
  - ⑧京都の食文化の普及啓発
  - ⑨地元産物への理解の推進と産地消の推進
  - ⑩食の安全性の確保
  - ⑪安心できる食生活の実現

構成団体名等	年度	具体的な取組	基本施策 No.	プラン冊子記載頁
子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室	30年度実績	○食育計画の作成と特色ある食育の取組【継続】	③	32
		○地元食材・伝統食等を取り入れた保育園(所)給食による食育の推進【継続】	③⑧	8.32.47
		○飼育・栽培体験等の推進【継続】	③	32
		○調理・配膳・片付け体験等の推進【継続】	③	33
		○一人一人の子どもへの適切な対応【継続】	③⑩	33
		○給食担当者研修会等の実施【継続】	③	33
		○地元食材・伝統食等を取り入れた給食による食育の推進【継続】	⑧⑨	8.32
		○保育園(所)等、学校等での給食だより等の発行【継続】	①⑤	42
		○保育園(所)等・幼稚園での保護者・地域への食育の推進【継続】	①⑤	42
	○地域住民から保育園(所)等の保護者・子育て家庭へ伝える食育の推進【継続】 食育指導員等地域の社会資源を活用した食育の推進	⑤⑦	42.43	
	31年度予定	○食育計画の作成と特色ある食育の取組【継続】	③	32
		○地元食材・伝統食等を取り入れた保育園(所)給食による食育の推進【継続】	③⑧	8.32.47
		○飼育・栽培体験等の推進【継続】	③	32
		○調理・配膳・片付け体験等の推進【継続】	③	33
		○一人一人の子どもへの適切な対応【継続】	③⑩	33
		○給食担当者研修会等の実施【継続】	③	33
		○地元食材・伝統食等を取り入れた給食による食育の推進【継続】	⑧⑨	8.32
		○保育園(所)等、学校等での給食だより等の発行【継続】	①⑤	42
○保育園(所)等・幼稚園での保護者・地域への食育の推進【継続】		①⑤	42	
○地域住民から保育園(所)等の保護者・子育て家庭へ伝える食育の推進【継続】 食育指導員等地域の社会資源を活用した食育の推進	⑤⑦	42.43		
保健福祉局医療衛生推進室	30年度実績	○行政による効率的・効果的な監視や検査の実施 ・食品関連施設に対して、食品衛生監視員による監視・指導 ・食品収去検査(抜き取り検査)の実施 ・カンピロバクターをはじめとした食中毒予防対策	⑩	50
		○食品等事業者による自主衛生管理の推進 ・危害分析・重要管理点(HACCP)方式による衛生管理の推進 ・京(みやこ)・食の安全衛生管理認証制度の活用及び普及	⑩	50
		○緊急時を想定した対策 ・食中毒等健康危機事案発生時の迅速かつ柔軟な対応	⑩	50
		○リスクコミュニケーションの充実 ・工場、食品取扱施設見学や衛生環境研究所での小学生向け食中毒予防講座(家庭内食中毒予防講座(38名)、食品工場見学会(37名、1月末時点)、食の安全安心デーに係る市内一斉啓発活動実施) ・「大学のまち・京都」の特性を活かしたリスクコミュニケーションの推進(大学コンソーシアム京都・単位互換科目「消費者問題2018」に講師派遣) ・食育と連携した食の安全安心施策の推進(食育指導員に食中毒予防講習会実施)	⑪	51
		○正確かつ適切な情報の発信 ・SNS等の様々な媒体を活用した効果的な情報発信(facebook 14回配信, 1月末時点)	⑪	51
	31年度予定	○行政による効率的・効果的な監視や検査の実施【継続】 ・食品関連施設に対して、食品衛生監視員による監視・指導 ・食品収去検査(抜き取り検査)の実施 ・カンピロバクターをはじめとした食中毒予防対策	⑩	50
		○食品等事業者による自主衛生管理の推進【継続】 ・危害分析・重要管理点(HACCP)方式による衛生管理の推進 ・京(みやこ)・食の安全衛生管理認証制度の活用及び普及	⑩	50
		○緊急時を想定した対策【継続】 ・食中毒等健康危機事案発生時の迅速かつ柔軟な対応	⑩	50
		○リスクコミュニケーション充実【継続】 ・工場、食品取扱施設見学(8月, 3月)や衛生環境研究所での小学生向け食中毒予防講座(7月) ・「大学のまち・京都」の特性を活かしたリスクコミュニケーションの推進(11月) 大学コンソーシアム京都・単位互換科目「消費者問題」に講師を派遣し、食への関心や知識を有する学生の養成を図る。 ・食育と連携した食の安全安心施策の推進(6,7月) 食育指導員養成講座への講師派遣や調理実習前の手洗い講習会を実施し、食の安全安心に関する知識を有した食育指導員を養成する。	⑪	51
		○正確かつ適切な情報の発信【継続】 ・SNS等の様々な媒体を活用した効果的な情報発信 「食の安全安心」facebook公式ページ等により食の安全安心に関する情報発信を行い、正しい情報の普及を図る。	⑪	51

- 基本施策**
- ①食育の効果的な普及啓発
  - ②ライフステージに応じた食育の推進
  - ③保育・教育活動を通じた食育の推進
  - ④環境にやさしい食育の推進
  - ⑤保護者・地域との連携による食育の推進
  - ⑥事業者との連携による食育の推進
  - ⑦食育に関わる人材育成・ボランティアへの支援
  - ⑧京都の食文化の普及啓発
  - ⑨地元産物への理解の推進と地産地消の推進
  - ⑩食の安全性の確保
  - ⑪安心できる食生活の実現

構成団体名等	年度	具体的な取組	基本施策 No.	プラン冊子記載頁	
教育委員会事務局指導部学校指導課	30年度実績	○栽培体験や調理体験等の推進(京都青果合同株式会社との連携のもと栽培・調理体験を小学校17校で実施)	③	34	
		○小学校における日本料理に学ぶ食育カリキュラムの実施(小学校9校で実施)	③⑧	34.35.47	
		○司厨士協会シェフによる調理実習及び食育授業の実施(中学校4校で実施)	③	34.35	
		○教職員研修会等の実施(教職員を対象とした、「食育スタンダード研修会」の実施)	③⑦	34.45	
		○京都市環境教育スタンダード等の推進	④	38	
	31年度予定	○栽培体験や調理体験等の推進【継続】 ○小学校における日本料理に学ぶ食育カリキュラムの実施【継続】 ○司厨士協会シェフによる調理実習及び食育授業の実施【継続】 ○教職員研修会等の実施【継続】 ○京都市環境教育スタンダード等の推進【継続】			
	教育委員会事務局体育健康教育室	30年度実績	○栄養教諭等の配置【継続】	③⑦	33
			○地元食材・伝統食等を取り入れた学校給食による食育の推進【継続】	③④⑧⑨	8.33.35.3 8.47.49
			○食育啓発冊子の活用と特色ある取組の推進【継続】	③	34
			○給食担当職員研修会等の実施【継続】	③	34
○保育園(所)等,学校等での給食だより等の発行【継続】			⑤	42	
31年度予定		○栄養教諭等の配置【継続】 ○地元食材・伝統食等を取り入れた学校給食による食育の推進【継続】 ○食育啓発冊子の活用と特色ある取組の推進【継続】 ○給食担当職員研修会等の実施【継続】 ○保育園(所)等,学校等での給食だより等の発行【継続】	③⑦ ③④⑧⑨ ③ ③ ⑤	33 8.33.35.38.47.49 34 34 42	

<31年度 野菜摂取の推進にかかる取組について>

第一市場	野菜摂取の推進	○あじわい館講演会での連携 ○のぼり,チラシ等の配架協力
幼保総合支援室	野菜摂取の推進	○農作物の成長や収穫の喜びを体験する栽培活動や調理体験を通して,食べ物への興味関心を育む ○京野菜をはじめとする旬の食材の活用して地産地消を推進し,日々の給食を通して野菜や食材に親しむ ○給食に使用する食材展示 ○給食展示や試食会,給食レシピの配布等を通して,家庭における食育の実践を支援
体育健康教育室	野菜摂取の推進	○特別活動(2)「食に関する指導」における「野菜」を題材とした授業 ○給食カレンダーによる野菜の特徴や栄養等の紹介 ○ポータルサイト等に京野菜の指導教材と指導案を掲載